# GER.Report

Vol. 6
2020 年 11 月 16 日



一般社団法人 地球環境改革再生機構 ®　東京都豊島区巣鴨 1－10－3　第三川端ビル　Email：info@jwstec.co.jp
広島市中区舟入町 2－20　三栄広島ビル　Email：info@jws-hiroshima.com


## ●広島オフィスで研修会開かれる。

11 月 8 日(日)研修会が開催され広島地区販売代理店 31 店が集まりました。
この研修会で広島地区で生産したダイコン、ジャガイモなどが紹介されました。

約 2 時間に及ぶ勉強会でした。

通常栽培の約 3 倍あります。

この大きさをみて下さい。
大きなじゃがいもです。

## ●広島地区で生産されている作物について。

なす。通常の 2 倍の大きさです。(岡山県)

鳥取県で栽培されたキュウリ、
トウモロコシ、サツマイモ畑

鳥取県で試験栽培されている冬
野菜、キャベツ、大根、白菜

## ●メキシコにおける新しい展開について。

メキシコにおける Japan Eco 社は医療器メーカーである 4Health との契約を終え本格的市場開拓に入りました。
現在の工場を拡大し（現状の 200 ㎡を 1000 ㎡に拡大）新たなニーズに対応する事としました。

4Health 社のコロナウィルス対策資料

現在整備中の工場写真（1000 ㎡）

メキシコ冷蔵食肉部門（ARGOSA）
との会議

## ●JWS インターナショナル

JWS インターナショナル社は機構の古い会員です。現在日本を含めて 10 ヶ国/地域で展開しています。

SARES 型/UH-1 型を含め 198 台を運用しています。

ノルウェーの鮭の陸上養殖

中国における農業生産
広大なリンゴの苗木畑

ベトナムでの屠殺消臭

スリランカでの展開状況
（政府関係者多数参加しています）

金賞を受賞した中国のサクランボ
（要人への贈答用です）

無印良品は JWS の製品です。

## ●カンボジアにおける東南アジア電解電子機能水フォーラムの開催

COVID-19 に対し積極的に ECOMIZER が用いられています。
1600 万人の人口の国で COVID-19 の患者数は 8 名、死亡者は累計で 0 人です。
農業分野、農薬の除去といった食品安全分野にも日常的に用いられ、大きな成果を挙げています。
このたびカンボジアの首都のプノンペンに 200～300 名の方をお招きして地域フォーラムを開催する事となりました。
COVID-19 が納まり、カンボジアへ渡港できるのを待っています。

カンボジアでの農業

プロンペン イオンモールで販売されている
ECOMIZER(野菜売り場の隣で売られています)

プロンペン市内の生成センター